

新時代

第 4 号

昭和 41 年 4 月 1 日

発行所 日本盲人福祉研究会

(文 月 会)

大阪市東淀川区東三国町 2 の 20

目

次

巻	頭	言	松井新二郎	1
盲人の未来像はなにか	田代姫代	2		
荒野にて	片倉欣彌	4		
盲女子の持つ問題	高田富美野	7		
ヨーロッパ人歩き	村中義夫	10		
私の誤算	前沢絢子	14		
国語国字の問題とカナタイプの利用	下沢仁	17		
斎藤ゆり先生を偲んで	栗津キヨ	21		
盲人運動のあり方について	志村一男	26		
編集後記	高橋実	31		



巻 頭 言

松 井 新 二 郎

「盲大学生よ、どこへ行く」こんなことが点毎に書かれたことを思い出す。当時の私は、家内の協力を得て学部を終え、大学院に学んでいたのも、その対象者の独りであったことには違いない。この言葉の中には二つのことがあったようだ。一つは大学は出たけれど就職の途がない。もう一つは晴眼者と共にする学生生活の不安ということだった。勿論、当時は今と異なり、大学の門戸は盲人のためには固く閉ざれ、点字答案は認められず、総べて英文タイプかカナタイプ乃至は墨字を手探ぐりでかくというようにきびしいものだった。終戦後間もない混沌たる学生制度の中に、そして日毎とアメリカナイズされつつある社会に、もまれている盲人学生は、方々の大学に散在していた。なんとかしてこの人達だけでも力を合わせ、新職業開拓と学生生活の改善をはかりたいという気持がついに盲大学生会の結成となって 26 年夏、東京ヘレンケラー協会で呱呱の声をあげた。

時は流れて 15 年後の今日、当時 20 数名によって発足した会も（日本盲人福祉研究会）に衣替えしたとは云え、125 名の多数の会員を数え、実に隔世の感がある。当時から思うと盲人教育も拡充し、福祉も極度に増大されてうれしい限りである。しかしながら、広い見地にたってみれば決して満足すべき状態ではない。教育は文部省に、福祉は厚生省に、労働は労働省にと余りに傾より、総合的問題の解決に乏しいのが実状である。真の福祉は奈辺にあるかを静かに検討しなければならない。「失われたものを数えるよりも残されたものをかぞえよ」パラリンピックは実によい言葉を残してくれた。今こそわれわれは、リハビリテーションの原理に基づいて、もう一度静かなる反省をしなければならない。そして真の福祉の具体策を打ちたてなければならない。これこそ若い（日本盲人福祉研究会）に課せられた課題であると思う。

盲大学生はレッテルではない。盲人が一般大学に学んだとてなんの不思議がない。あたりまえのことである。社会が物珍しく取り扱う、それ事態が実に考えさせられる事柄ではないかと思う。われわれは大学に学んだことをもって特権意識

を持つとするならば大きな誤まりである。要はより高い知性を実践するところに使命があるのではなからうか。かかる意味において、過日の第5回大会の決議事項の実践も当面する問題解決の鍵の一つであると思う。会員諸氏の力強い支援により決議事項を処理したいと思っている。

尚、アンケートに対しては回答を寄せていただき厚く感謝する。

(筆者は本会の副会長)

盲人の未来像はなにか

田 代 姫 代

最近、一般社会では、無理な受験勉強の結果、頭の変な大学生がふえ、青少年が大きな夢を失って、目前の享楽や安定した生活など、いわゆる「小さな幸福」に安住し、動物化した非行青少年が巷(チマタ)に氾濫するなど、いくつかの憂うべき現象が世の大人達を嘆かせているが、一般社会から隔離されている盲教育にも問題がないわけではない。

いい古されていることではあるが、学校教育法 71 条による「一般教育に準ずる教育を施し、併せてその欠陥を補うために必要な知識技能を授けること」を目的とするために、盲学校あるのであろうか。生徒のもつ福祉的ニード、すなわち身体面、精神面、社会経済面、その他におけるハンディキャップに加えて、「喰わせるため」の百年一日のごとき進歩のない職業教育のためかどうか、生徒の学習意欲低下は慢性化し、ノイローゼや問題行動、パーソナリティのゆがみ、社会への不適応などの現象が目立ちはじめ、その影響は教師の側にまで及びそうな形勢になってきた。(歴史の浅い精薄、養護など他の特殊教育の方が研究意欲がさかんとのことである。)

盲教育界は、外面は安定ムードに包まれているが、いつの間にか古い固い殻が出来上がってしまって、自らの力だけではとうてい脱皮出来なくなっているのではないかとさえ思わせるほどの沈滞ぶりである。

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

新時代 第四号

昭和四十一年三月廿五日印刷
昭和四十一年四月一日発行 (非売品)

発行所

大阪市東淀川区東三国町二ノ二〇
振替口座 二七五八八番

日本盲人福祉研究会

(文月会)

発行人

「新時代」編集委員会